

R 8 44.2kp 千把野



新潟県三条市千把野新田 上り

R116 5.15kp 十日市 下り



新潟県刈羽郡刈羽村十日市町 カメラ位置：海側

令和4年度 今冬の記録



小千谷市木津

令和5年5月

北陸地方整備局 長岡国道事務所



新潟県魚沼市新道島 下り

■ 管内の降雪・積雪状況

< 管内における今冬の降積雪概要 >

□ 初雪と初出動

- 11月16日 薬剤散布車 初出動（湯沢維持管内）
※ 昨冬より8日早い
- 11月15日 初雪観測（湯沢維持管内）
※ 昨冬より12日早い
- 11月16日 除雪車 初出動（湯沢維持管内）
※ 昨冬より11日早い

□ 雪害体制

R4	11月 1日	道路雪害対策支部	平常体制発令
	12月19日	道路雪害対策支部	警戒体制移行
	12月26日	道路雪害対策支部	注意体制移行
R5	1月24日	道路雪害対策支部	警戒体制発令
	1月30日	道路雪害対策支部	注意体制移行
	4月10日	道路雪害対策支部	注意体制解除

●今冬(令和4年度)における管内の最大降積雪

	観測所名	警戒 積雪深 (cm)	最大 積雪深 (cm)	最大 積雪日	最大 降雪深 (cm)	最大 降雪日
1	中之島	100	92	R4/12/20	72	R4/12/19
2	長 岡	140	98	R4/12/20	70	R4/12/19
3	五十土	130	131	R5/1/30	65	R4/12/19
4	柏 崎	80	77	R4/12/20	48	R4/12/20
5	出雲崎	80	63	R4/12/20	59	R4/12/20
6	小千谷	220	191	R5/1/29	72	R4/12/19
7	川 口	270	232	R5/1/29	62	R4/12/19
8	小 出	240	190	R5/1/29	62	R4/12/19
9	塩 沢	220	159	R5/1/6	40	R4/12/19
10	湯 沢	210	164	R5/1/6	48	R5/1/2
11	三 俣	300	244	R5/2/22	60	R5/1/25
12	二 居	240	192	R5/2/15	53	R5/1/2

※今冬は4回の寒波があった。（主な観測所の日降雪量）

○12月18～21日 中之島・小千谷72cm、長岡70cm、五十土65 cm

○12月23～26日 三俣47cm、湯沢37cm

○ 1月24～26日 三俣60cm、二居37cm、小出33cm

○ 1月27～29日 川口55cm、小千谷53cm、宮本51cm

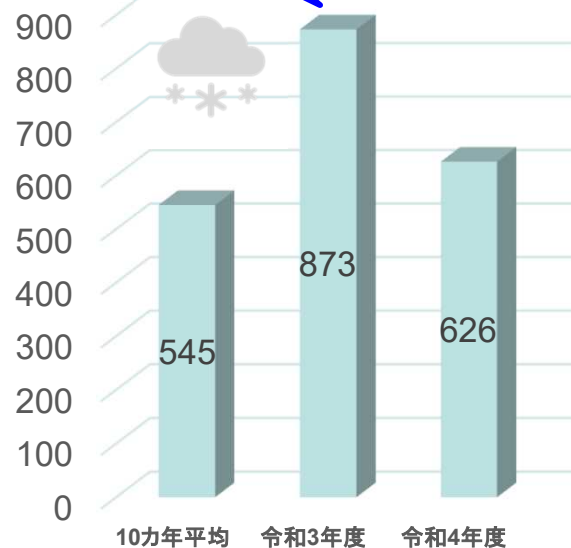
■今冬のトピックス（記録的な大雪）

- ◆ 今冬における管内の累計降雪量は、10カ年平均の約1.2倍と平年並みであったものの、最大日降雪量は、柏崎で観測史上最大(12月19日 72cm)、長岡で観測史上第3位(12月19日 75cm)を記録し、異例とも言える大雪となった。
- ◆ 12月19日はJPCZの影響により、特に柏崎市、長岡市周辺で集中的な降雪があった。これに起因し、国道8号(柏崎地域)及び国道8・17号(長岡地域)の各所で立ち往生車が発生し、大規模な車両滞留へと発展した。
- ◆ 大規模な車両滞留を解消すべく、国道8号(柏崎地域)及び国道8・17号(長岡、小千谷地域)にて災害対策基本法に基づく道路区間を指定し、通行止め・集中除雪を実施。通行止め解除までに、国道8号(柏崎地域)では38時間、国道8・17号(長岡、小千谷地域)では26時間を要した。
- ◆ 1月末の寒波では、大雪による集中除雪のため予防的通行止めを各所にて実施。早期に国道の走行性を確保した。

管内の降雪状況

過去10ヶ年
最大降雪

令和5年3月31日現在



▲長岡国道管内累計降雪量比較
※事務所観測データ

大雪に伴う主な事象

(12月・1月寒波)



R8 米山台 登坂不能車発生状況



R116 長崎新田 登坂不能車発生状況



R8 天神町
災対法に伴う通行止め



R8 日越 大型のスタック車両



R8 新赤坂4丁目 車両滞留状況



R8 米山大橋
通行止めによる車両滞留

■今冬のトピックス（記録的な大雪）

大雪に伴う主な事象

（12月・1月寒波）



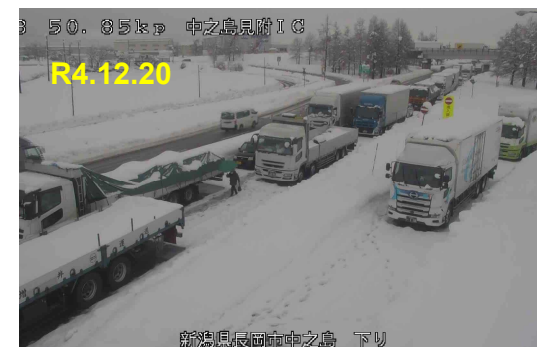
R8 柳田 車両滞留状況



R17 高畑南
スタック車両による車両滞留



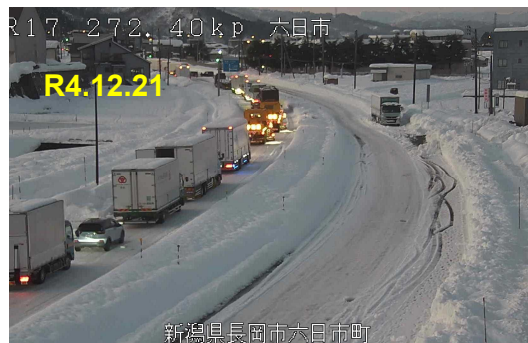
R8 鯨波 車両滞留状況



R8 中之島見附IC 車両滞留状況



R17 十日町高架橋 車両滞留状況



R17 六日市町 車両滞留状況



R8 坂井 車両滞留状況



R8 柳田 スタック車両発生状況



R8 坂井北
集中除雪に伴う予防的通行止め



R8 天神町
集中除雪に伴う予防的通行止め



R17 堀之内除雪ST
集中除雪に伴う予防的通行止め



R8 米山登坂 登坂不能車発生状況

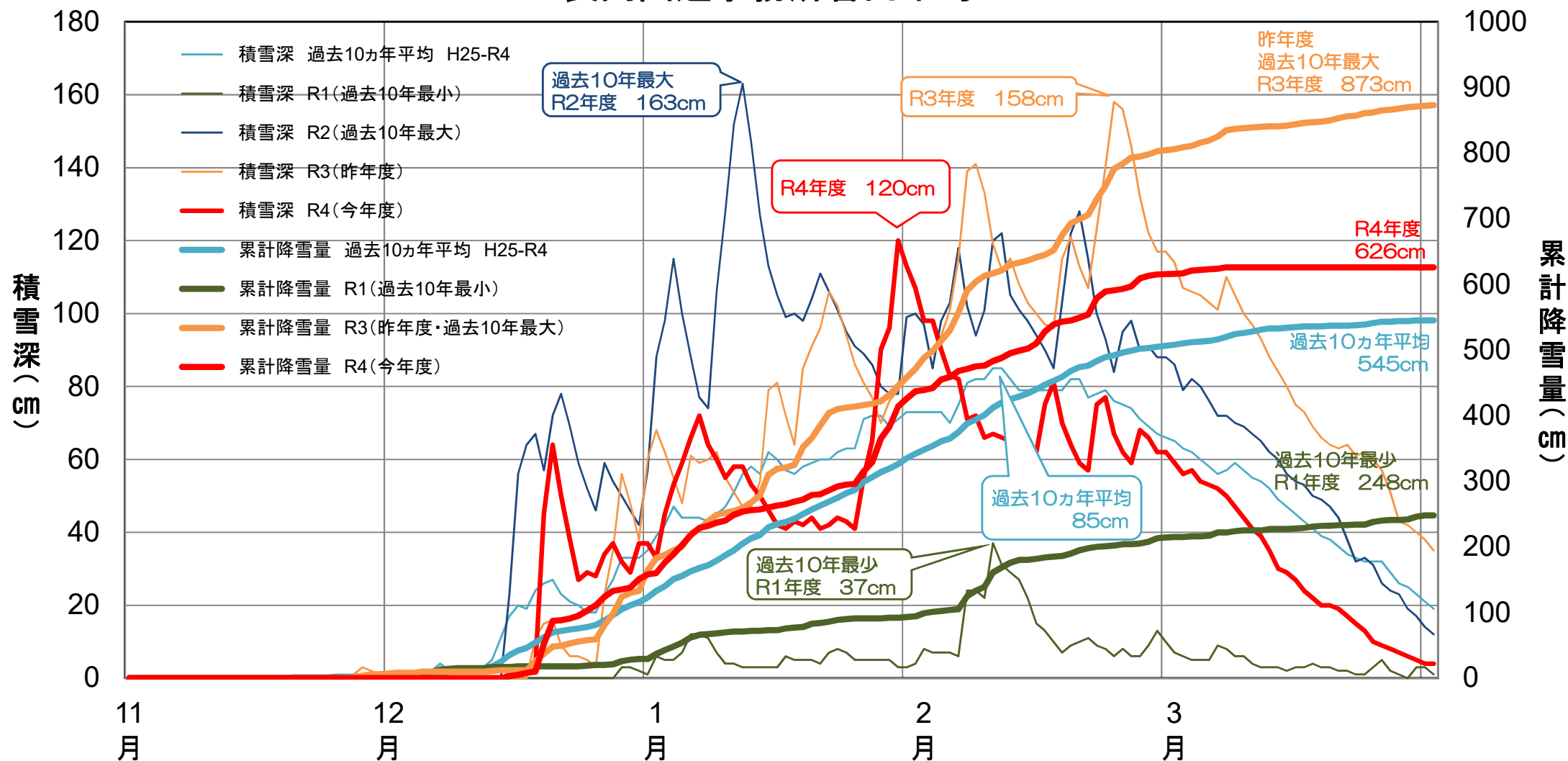
■積雪深・累計降雪量の比較（令和5年3月31日現在）

【長岡国道事務所管内】

○事務所管内13観測点の平均累計降雪量は、過去10年平均の約1.1倍で、過去10年で4番目に多い降雪量となった。

（累計降雪量：今冬626cm 過去10年平均545cm 最大積雪深：今冬120cm 過去10年平均85cm）

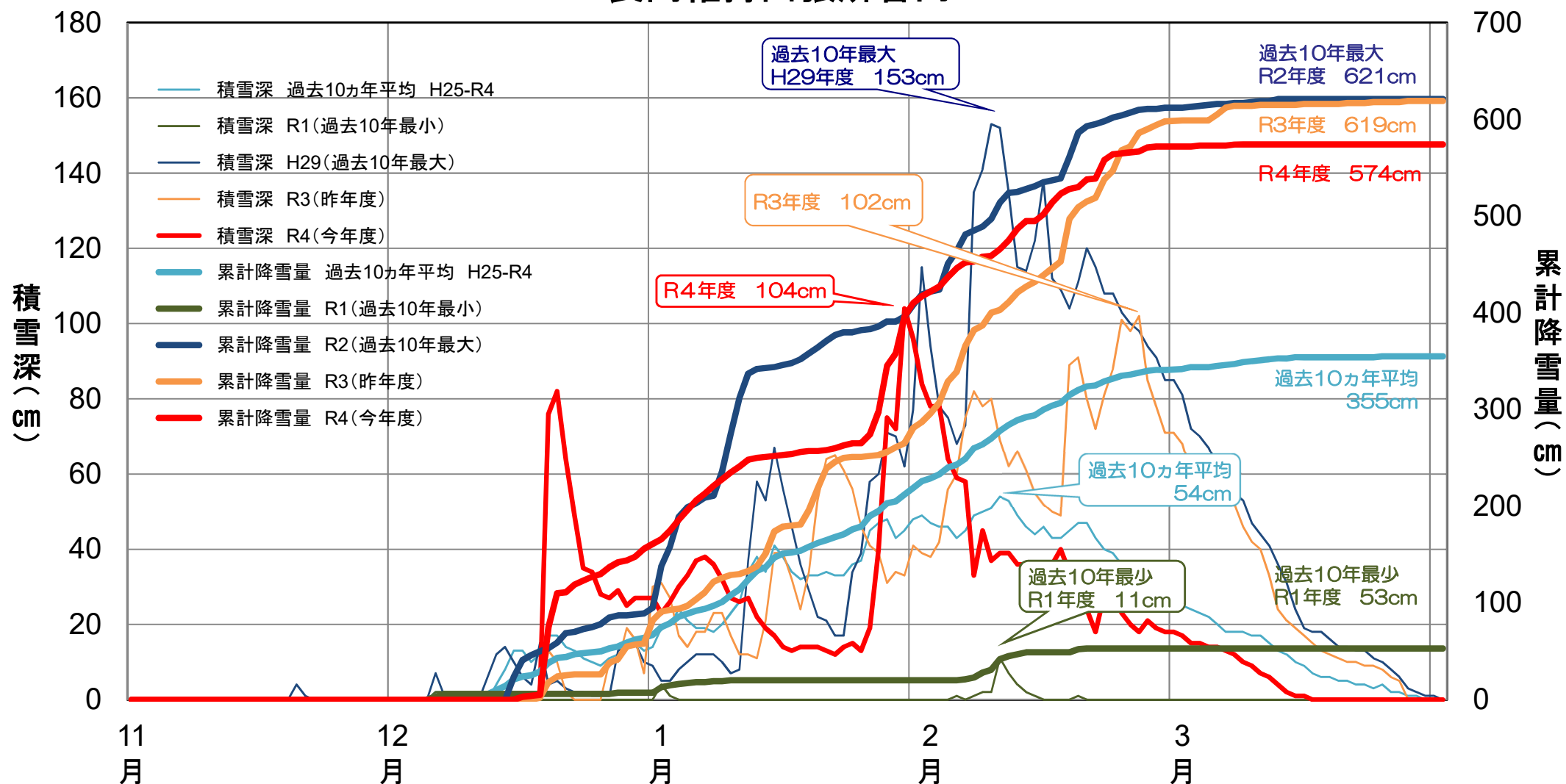
長岡国道事務所管内平均



■積雪深・累計降雪量の比較（令和5年3月31日現在）【長岡維持出張所管内】

○ 長岡維持管内では、累計降雪量が過去10年平均の約1.6倍で、過去10年で3番目に多い降雪量となっている。
 （累計降雪量：今冬574cm 過去10年平均355cm 最大積雪深：今冬104cm 過去10年平均54cm）

長岡維持出張所管内

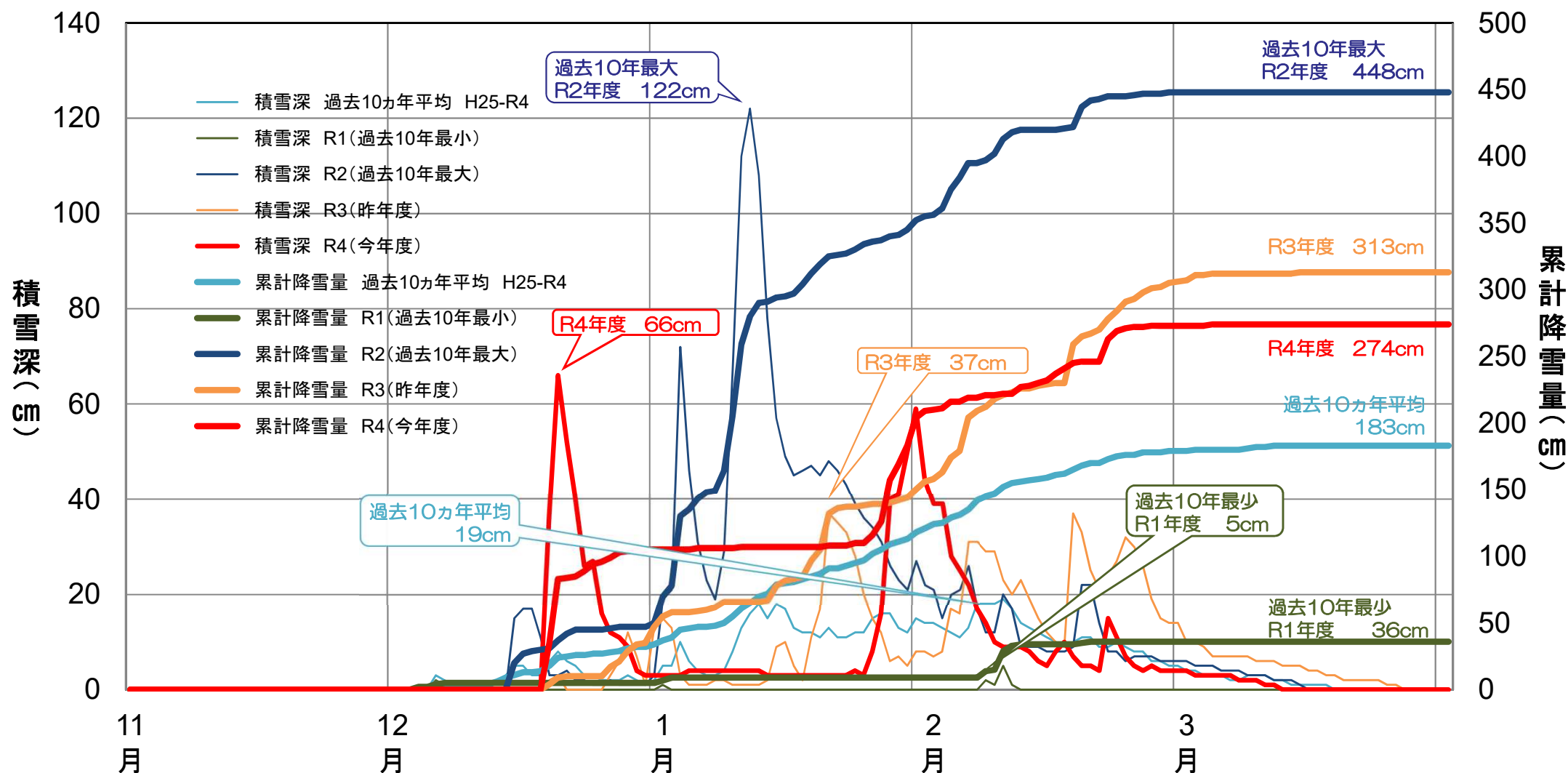


■積雪深・累計降雪量の比較（令和5年3月31日現在）

【柏崎維持出張所管内】

○ 柏崎維持管内では、累計降雪量が過去10年平均の約1.5倍で、過去10年で3番目に多い降雪量となっている。
 （累計降雪量：今冬274cm 過去10年平均183cm 最大積雪深：今冬66cm 過去10年平均19cm）

柏崎維持出張所管内

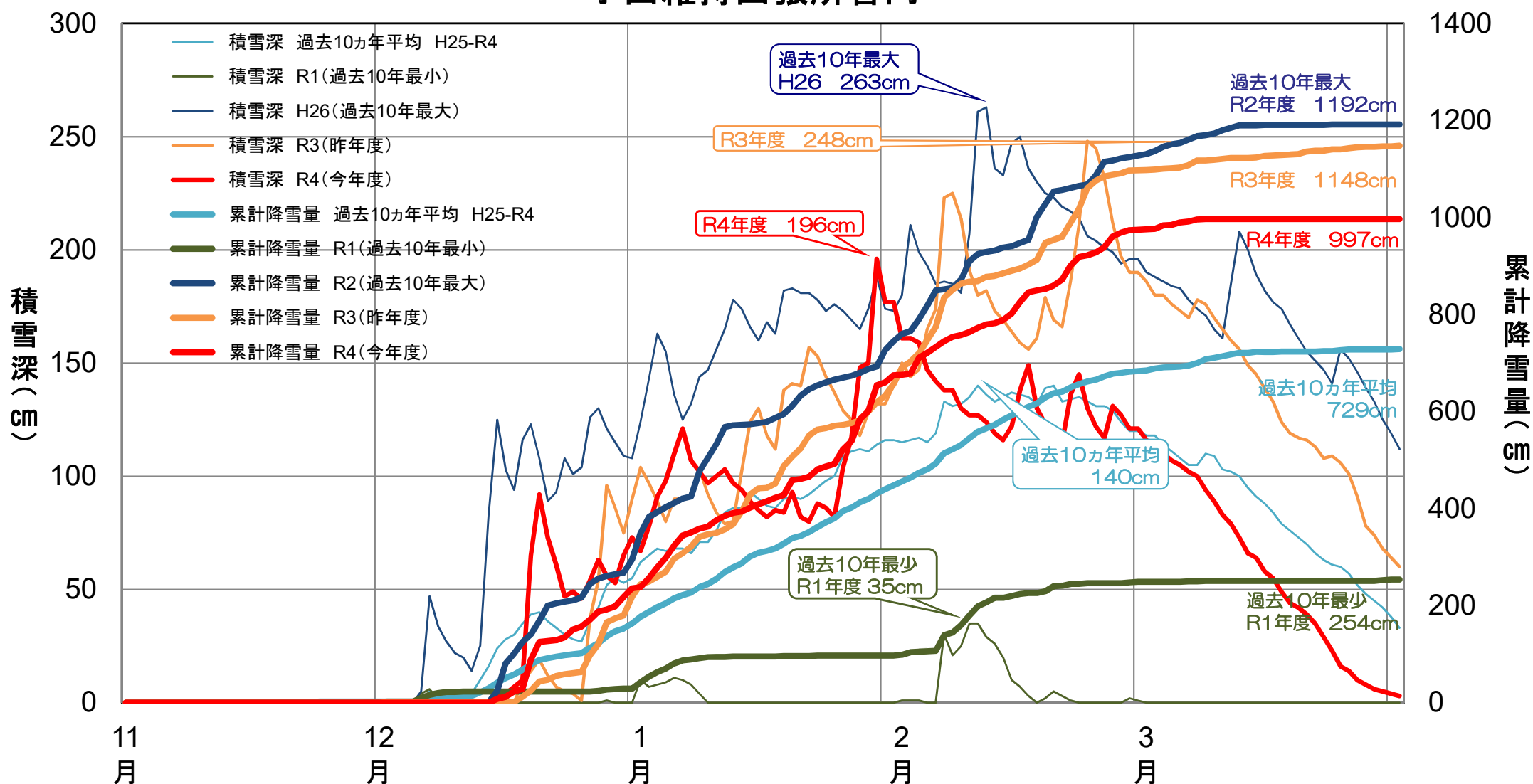


■積雪深・累計降雪量の比較（令和5年3月31日現在）

【小出維持出張所管内】

○ 小出維持管内では、累計降雪量が過去10年平均の約1.4倍で、過去10年で3番目に多い降雪量となっている。
（累計降雪量：今冬997cm 過去10年平均729cm 最大積雪深：今冬196cm 過去10年平均140cm）

小出維持出張所管内

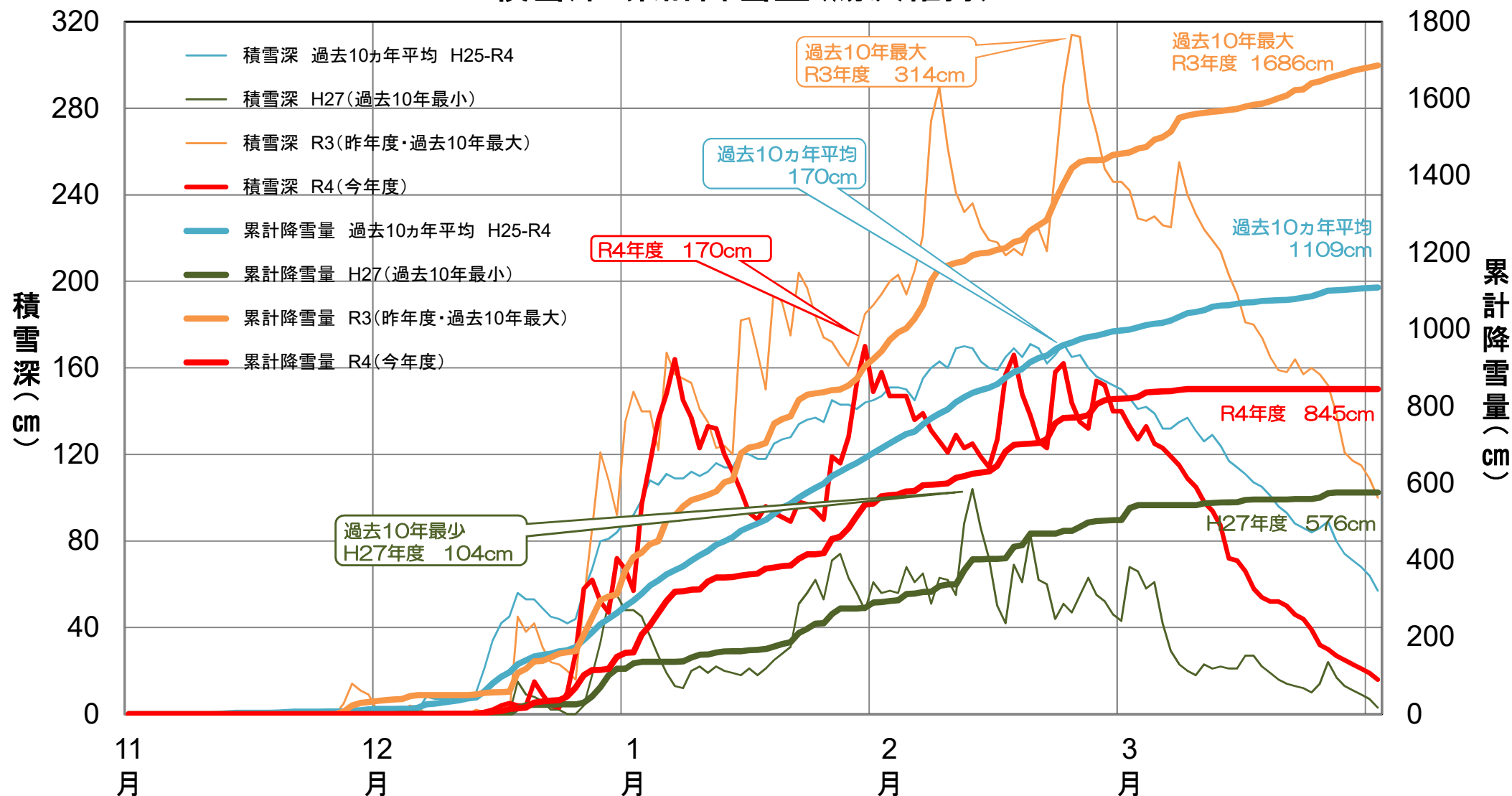


■積雪深・累計降雪量の比較(令和5年3月31日現在)【湯沢維持・雪害対策出張所管内】

○ 湯沢維持管内では、累計降雪量が過去10年平均の約0.7倍で、過去10年の平均以下となっている。

(累計降雪量: 今冬845cm 過去10年平均1109cm 最大積雪深: 今冬170cm 過去10年平均170cm)

積雪深・累計降雪量(湯沢維持)



■ 除雪計画・体制

- ◆ 令和4年11月1日より、長岡国道事務所雪害対策支部を設置し、今冬の「雪寒体制」を開始した。
- ◆ 管内3路線(8・17・116号)、延長220.1kmについて、2車線以上を常時確保する事を目標に冬期道路交通確保に努めた。
- ◆ 除雪機械について、10ヵ所の除雪ステーションに133台を配備し、除雪に取り組んだ。
- ◆ 令和5年4月10日に、長岡国道事務所雪害対策支部の体制を解除した。

◆11月1日
道路雪害対策支部設置(看板掛け)



◆11月1日 除雪出動式(長岡除雪ステーション) 管内11の全除雪作業請負業者が集合。
除雪出動式の様子



除雪機械の鍵の引き渡し



除雪業者による決意表明



◆令和4年度 除雪機械配置計画表

出張所名	除雪ST	担当路線	除雪延長		除雪機械						計
			車道	歩道	除雪トラック	グレーダ	ロータリ	ドーザ	薬剤散布車	小型除雪車	
長岡維持	中之島	8号	19	16.64	3	3	2	1	1	3	13
	長岡	8,17号	16.6	9.37	4	2	2	1	1	2	12
	宮本	8号	17.2	19.9	0	5	3	1	1	4	14
	3工区	2路線	52.8	45.91	7	10	7	3	3	9	39
柏崎維持	柏崎	8号	37.5	25.96	2	6	2	0	2	8	20
	出雲崎	116号	34.3	26.32	2	5	1	0	1	5	14
	2工区	2路線	71.8	52.28	4	11	3	0	3	13	34
小出維持	堀之内	17号	20.9	30.67	1	4	3	0	1	5	14
	小出	17号	27.1	17.89	0	4	2	0	1	7	14
	2工区	1路線	48	48.56	1	8	5	0	2	12	28
湯沢維雪	塩沢	17号	20.8	16.63	0	4	3	0	1	4	12
	湯沢	17号	13.1	6.25	2	2	3	2	1	3	13
	二居	17号	13.6	0.59	1	2	2	1	1	0	7
	3工区	1路線	47.5	23.47	3	8	8	3	3	7	32
事務所計	10工区	3路線	220.1	170.22	15	37	23	6	11	41	133

令和4年度更新

【内訳・数量】

- ・ 除雪トラック 1台
- ・ 除雪グレーダ 1台
- ・ ロータリ除雪車 1台
- ・ 凍結防止剤散布車 1台
- ・ 小型除雪車 5台



■冬期道路交通確保状況

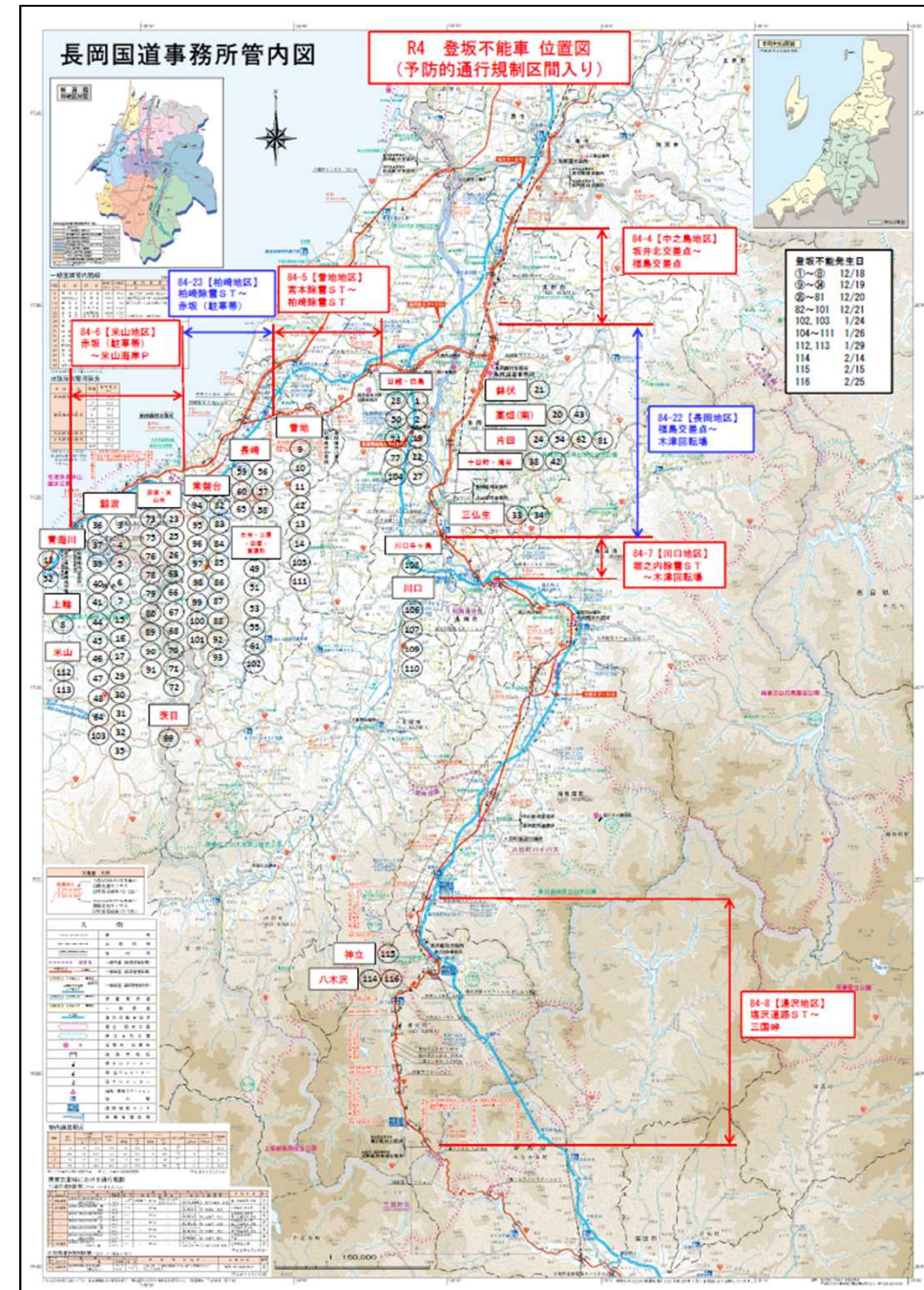
令和4年度中における登坂不能車発生件数は116件であり、令和3年度と比べ大幅に増加。12月の記録的な大雪の影響により、国道8号、17号では登坂不能車が断続的に発生。これらを契機として大規模な車両滞留に発展し、通行止め解除までに1～2日間を要した。

※通行規制等の実施状況(令和4年12月)

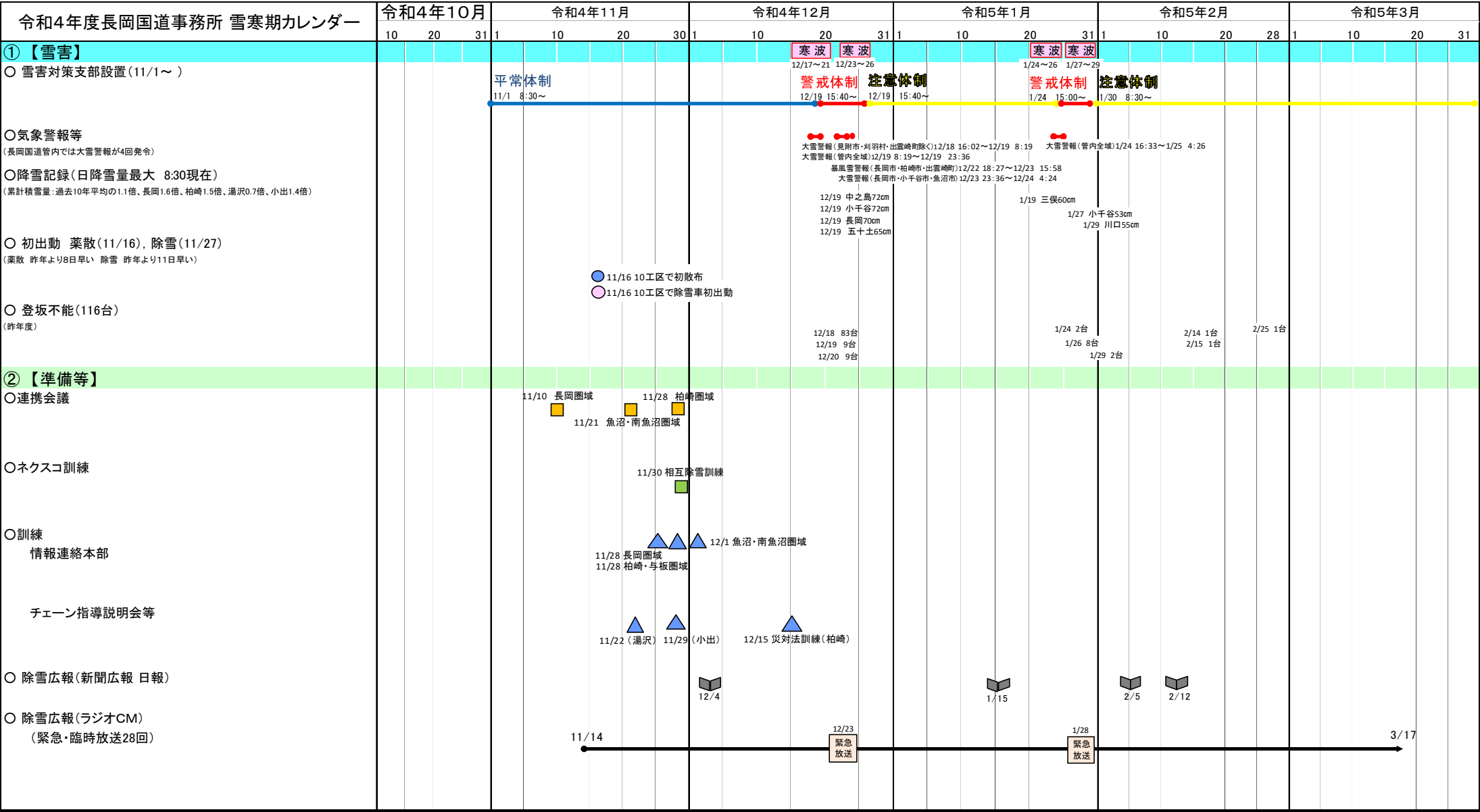
- ・R4.12.19 12:15 国道8号(柏崎地域)において災害対策基本法に基づく道路区間を指定
- ・R4.12.19 15:40 国道8号(柏崎地域)の災対法指定区間内において、集中除雪のため通行止めを実施
- ・R4.12.20 5:40 国道8号・17号(長岡、小千谷地域)において災害対策基本法に基づく道路区間を指定
- ・R4.12.20 6:00 国道8号・17号(長岡、小千谷地域)の災対法指定区間内において、集中除雪のため通行止めを実施
- ・R4.12.21 6:00 国道8号(柏崎地域)の通行止めを解除
- ・R4.12.21 8:00 国道8・17号(長岡、小千谷地域)の通行止めを解除
- ・R4.12.26 18:00 国道8・17号(長岡、柏崎、小千谷地域)の災害対策基本法に基づく道路区間指定を廃止

出張所	H30	R1	R2	R3	R4
長岡維持	0	0	4	0	19
柏崎維持	2	0	22	23	87
小出維持	2	0	5	1	7
湯沢維雪	8	4	32	12	3
合計	12	4	63	36	116

(登坂不能車は、牽引した車両台数のみ)



令和4年度 雪寒期カレンダー



令和4年12月長岡・柏崎地域の大雪を踏まえた冬期道路の対応について（概要版）

◆本検討会では、令和4年12月新潟県中越地域で発生した大雪などの自然災害（豪雪）に対し、人命を最優先に大規模な車両滞留を回避すべく、関係機関が緊密に連携し、出控え等の行動変容の呼びかけや高速道路と国道等の同時通行止めによる集中除雪などによる早期交通確保を図るほか、通行止めなどの最小化に向けた雪に強い道路づくりなど当該地域における冬期道路交通確保に必要な取り組みをとりまとめたものである。

【第1回対策検討会（令和5年1月23日）】

行動計画の見直し

降雪量による行動計画 【国】

- 降雪量の閾値による行動計画策定【国】
 - ・実測値判断により機械的に通行止め、集中除雪を実施
- 関係機関と実測降雪量を共有（情報連絡本部開設時）【国】
- 閾値による行動計画の実行力を高めるため、来冬に向けて訓練を実施【国】

情報連絡本部設置基準の追加 【国】

- 降雪量の閾値により情報連絡本部設置を自動化【国】
 - ・予測値による従来の設置基準に加え降雪量実測値による設置基準の設定等
- 閾値による情報連絡本部の設置を遅滞なく実行するため、来冬に向けて訓練を実施【国】

国道・高速道路の同時通行止め 【国・高速共通】

- 国道と高速道路のどちらかにおいて、交通障害が発生した場合、緊密な連携のもと躊躇なく同時通行止めを実施【国・高速共通】
- 降雪地域への交通流入抑制を実施【国・高速共通】

災害対策基本法の運用見直し

- 降雪量の閾値による災対法区間指定（予防的通行規制区間）【国】
- 車両滞留が発生する恐れがある場合には、閾値により遅滞なく災対法区間指定を実施するものとし、実行力を高めるため、来冬に向けて訓練を実施【国】
- 荷主及び車両管理者への牽引等に関する周知【国】

予防的通行規制区間の追加

- 長岡市福島から小千谷市木津区間の予防的通行規制区間を新設【国】
 - ・閾値による除雪梯団の運用方針を共有[長岡・柏崎]
 - ・受注者等による通行規制要員の確保[長岡・柏崎]
- 柏崎市米山台から同市曾地間の予防的通行規制区間を新設【国】
 - ・柏崎市日吉町～天神町間を通行止めし、県管理区間（R252）を含む柏崎バイパスへの交通誘導
 - ・降雪機関を通じた除雪車の事前配備
- 建設業協会と通行規制要員確保の協力体制を構築【国】

各種情報提供及び出控え広報の強化

各事象毎の情報内容の追加

- 巡回強化などによる安全運転の徹底【高速】
- 出控え広報による交通量抑制【国・高速共通】
- 事前準備【国】
 - ・広報内容及び体制、タイミングを行動計画において事前設定等
 - ・気象（降雪）情報を踏まえた渋滞状況調査人員（地元業者等）の事前確保
- 建設コンサルタンツ協会と定期的に調整を図り、現地調査要員確保の協力体制を構築
- 大雪警報発表時【国】
 - ・道路情報板で「大雪警報発表中」と「不要不急の出控え」表示
- 事象発生時：立ち往生車両発生【国】
 - ・スタック車の情報提供、マスコミに対し定時の記者発表の実施
 - ・滞留しているドライバー向けに定時での情報発信（今後の見通し、乗員保護活動等）
 - ・Twitterによる「大型車チェーン必要」の情報発信

【第2回対策検討会（令和5年3月23日）】

除雪能力を大幅に超える降雪への対応

効果的な広域迂回に関する情報提供 【国・高速共通】

- 5機関共同会見（北陸地方整備局、気象庁、NEXCO（東日本・西日本）、北陸信越運輸局）による事前の情報提供、出控え要請の徹底【国・高速共通】

除雪体制・監視体制の強化 【国】

- 急勾配区間等に消融雪施設を検討・設置[柏崎]
- 除雪機械の増強（除雪ドーザ）と、大雪予測時の除雪機械事前配置（ロータリ除雪車）により、路肩幅員狭小区間を集中除雪[柏崎]
- R8柏崎バイパスの交通確保を最優先し、市街地部での滞留発生を抑制するため、堆雪処理に時間を要する柏崎高架橋区間等に消雪パイプを設置[柏崎]
- R17高畑南交差点前後に、消雪パイプを設置[長岡]
- 除雪工区境のR17越の大橋付近について、長岡工区、堀之内工区の両工区が重複して除雪し、除雪頻度増[長岡]
- 迅速な除雪作業に向けた体制強化[長岡・柏崎]
- CCTVカメラを増設、監視体制強化[長岡・柏崎]

迅速な予防的通行止めと早期の通行止め解除 【国】

- 除雪支障車両の待避スペースを本線脇に確保（非常駐車帯の拡大等）[長岡・柏崎]
- 滞留車両の本線Uターン可能箇所の確保（中央分離帯の開口部設置等）[長岡・柏崎]
- 通行止め規制箇所に職員や規制要員の待機・休憩施設、仮設トイレ設置[長岡・柏崎]
- 駐車場（待避スペース）整備や遠隔操作による通行止め装置導入等、迅速な予防的通行止めに資する施設の整備[その他]

気象予測精度向上による雪氷体制検討 【高速】

- JPCZに対する気象予測の継続検討

交通障害の早期解消 【高速】

- 大雪予測時、集中降雪時及び通行止め時の1.5車線（1車線＋緊急車両通行帯）等の柔軟な交通運用を実施するための目安の明確化（継続実施中）
- 通行止め時においても緊急避難路として高速道路を活用する場合の運用オペレーションの確立
- 上振れした降雪時における応援体制の強化
- ICへのアクセス道路の除雪対応の明確化・緊密な連携

渋滞・車両滞留状況の把握

- CCTVカメラを増設、監視体制強化【国】（再掲）
- 従道路側の状況を早期に確認・共有し、従道路管理者への除雪の要請や自治体を通じた出控え広報を実施する行動計画を立案。実行力を高めるため、来冬に向けて訓練を実施【国】

更なる対応力向上に向けた取り組み

- 降雪量データの補完を目的に、簡易レーザー式積雪深計を5箇所試行設置（R5.2月）、閾値付近の降雪量となる場合、簡易レーザー式積雪深計のリアルタイムデータから面的に降雪状況を把握【国】
- 路面状況や立ち往生車両の早期発見のため、立ち往生発生箇所に簡易カメラ（インターバル式）を6箇所試行設置（R5.2月）、状況把握を強化【国】
- R5年度以降は簡易レーザー式積雪深計、簡易カメラともに箇所を増設し運用【国】